

我が庭を

訪れた



野鳥たち

目次



3～4 **目白**メジロ

5～6 **四十雀**シジュウカラ



7～8 **山雀**ヤマガラ

9～10 **鶺鴒**ヒヨドリ



11～12 **椋鳥**ムクドリ

13～14 **鶉** ツグミ



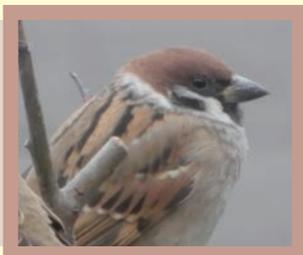
15～16 **雉鳩** キジバト



17～18 **尾長** オナガ



19～20 **雀** スズメ



21～22 **珍客**



コゲラ



ジョウビタキ



シメ

秋から春にかけて横浜にはじつにさまざまな野鳥が飛んできます。わたしの住む地区でもメジロやシジュウカラをはじめ、珍しいコゲラ、ジョウビタキ、シメに出会えます。

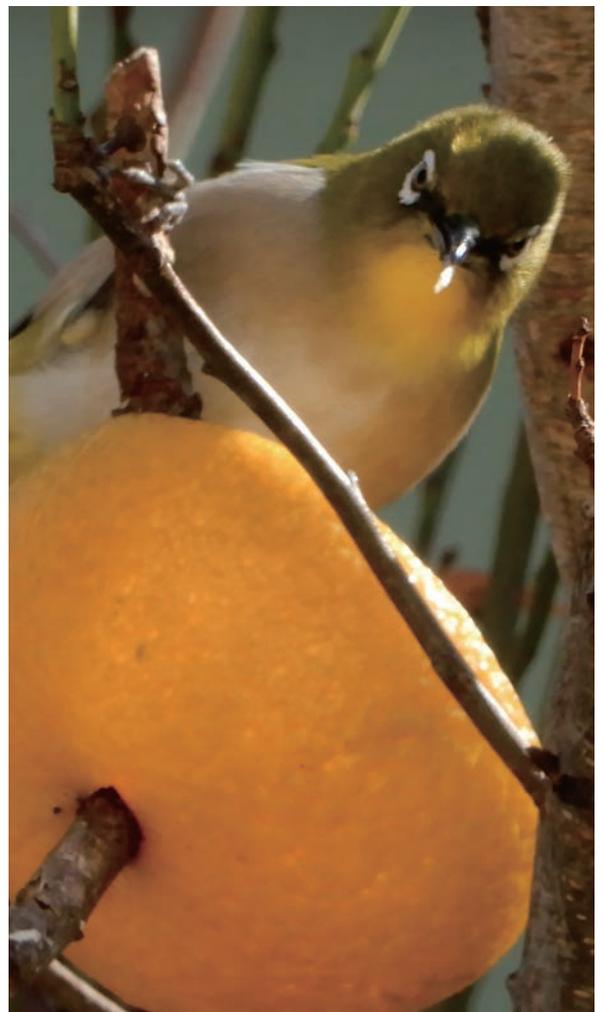
エサが乏しくなる11月から3月の間、庭にバードテーブルを設け、ここ数年にかけて訪れた野鳥たちをまとめてみました。

2018年春作成



メジロ

メジロはみかんが大好き。季節を追ってさまざまな餌場を訪れるが、目ざとくみかんを見つけると盛んにくちばしを果肉の中に差し込んで果汁を吸う。



どの野鳥も水浴びが好きだ。
安心だとわかればすぐ下りてくる。

＜メジロ＞データ ①スズメよりやや小さい（12cm）留鳥
スズメ目メジロ科 ②雑食（主に花の蜜、果実を好む、他に虫などを補食することがある）



見えかくれ居て花こぼす 目白かな
／富安風生



ヒヨドリの際をねらったの食事。

シジュウカラ

人をあまり怖がらない野鳥。春先などに目にすることが多い。スズメと同じくらいの大きさで、喉から下には黒い縦線がネクタイのように入っています。



トントーン、トントーン。
両足で巧みに抱え、突つき割って実を取り出します。

〈シジュウカラ〉データ
スズメ目シジュウカラ科

- ①スズメと同じぐらい（14cm）留鳥
- ②雑食（主に種子、木の実、を好むが、昆虫やクモも捕食する）



餌入れは手作りです。



めったに見ない水浴が撮れました。

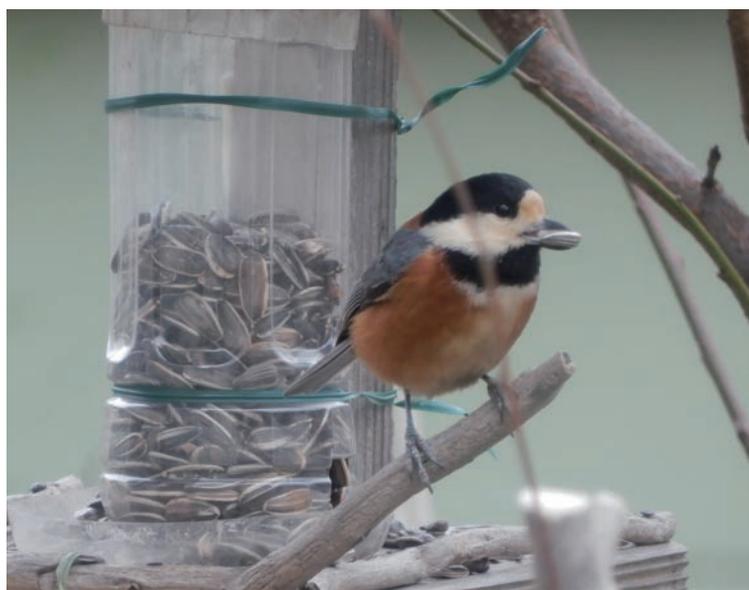
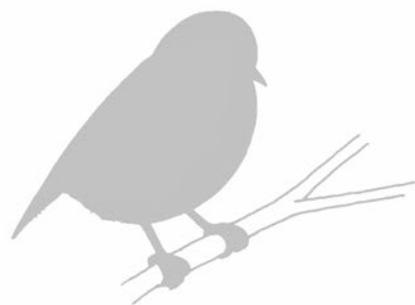


この時期はひまわりの種が一番かな？

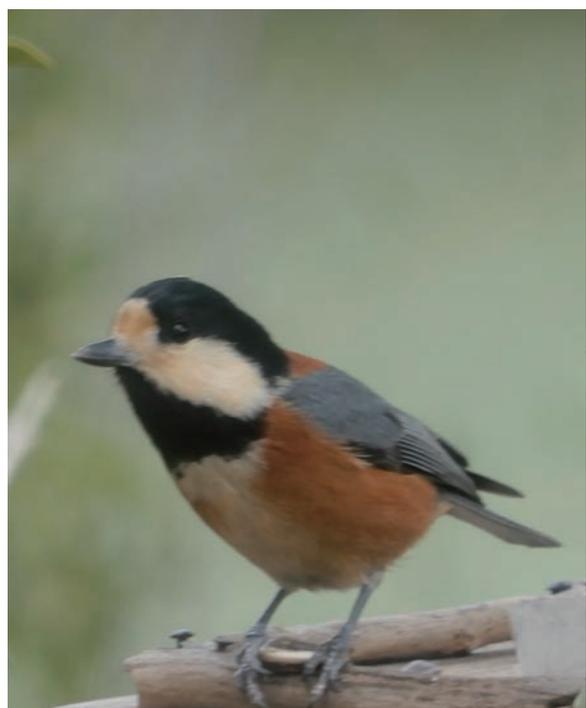


ヤマガラ

頭は黒と薄黄色のツートンカラー。雑食性で、夏には昆虫などを食べるが、冬には主に果実を食べる。種子は器用にくちばしでつつき割って食べる。



その場では食わず、必ず持ち帰る習性をもつ。



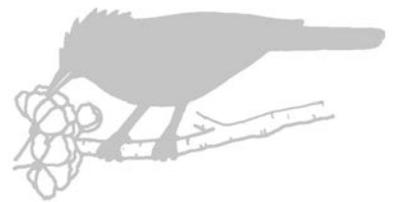
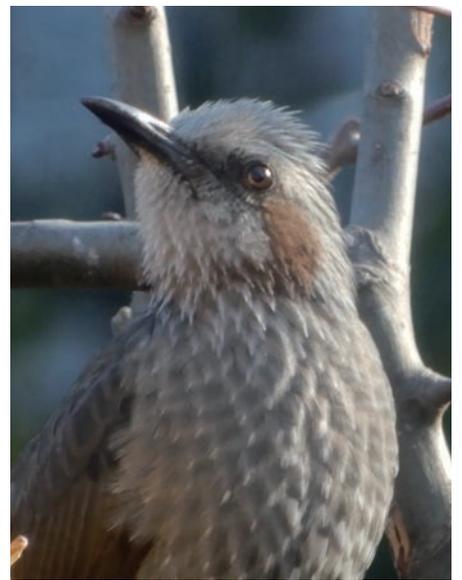
〈ヤマガラ〉 テータ
スズメ目シジュウカラ科

- ①シジュウカラとほぼ同じ(14cm) 留鳥
- ②雑食(シジュウカラとほぼ同じ、エゴノキの果実を好む)
- ③貯食行動をする



ヒヨドリ

冬になると、庭木に止まりピーピーピ、ピーピーピとやたらと大きな声で鳴くのがヒヨドリ。灰色の体にボサボサの頭で、いかにも気が強そうな風貌をみせる。



<ヒヨドリ>データ ①ハトより小さくスズメより大きい（27cm）尾がやや長い、留鳥
スズメ目ヒヨドリ科 ②雑食（主に果実、花の蜜を好むが、畑の野菜も食する）



メジロを追い出し、ミカンを独占。



コゲラ

〈テータ〉キツツキ目キツツキ科アカゲラ属

- ①スズメぐらい（15cm）留鳥
- ②雑食（主に幹の中の虫、クモ、果実や種子も捕食）



餌の乏しい冬は、カマキリの卵もついばむ。



ジョウビタキ

<データ>スズメ目ツグミ科(ヒタキ科)

- ①スズメよりやや小さめ(15cm) 尾は赤褐色、冬鳥(渡り鳥) オスは色鮮やかで、メスは地味
- ②昆虫やクモを好むが、木の実等も食す

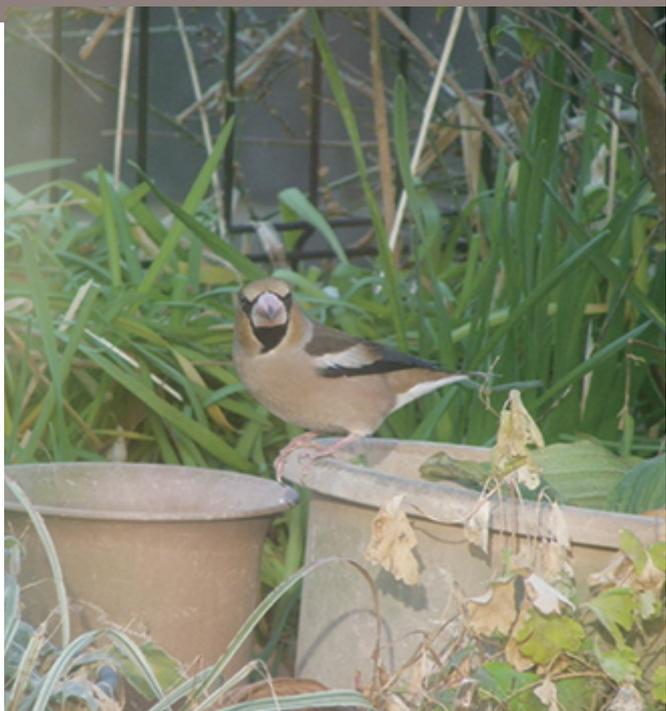


掘り返した庭の土をじっと見つめる(メス)。

シメ

<データ>スズメ目アトリ科シメ属

- ①ムクドリよりやや小さい(19cm) 漂鳥
- ②雑食(主にエノキ、ムクノキ等の木の実や甲虫類)



この目は餌を探している。

我が庭を

訪れた



野鳥たち